

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：RSK-1,RSK-2,RSK-3,RSK-4

製品番号 (SDS NO)：1001-2

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：アスファルト乳剤(舗装用材料)舗装用アスファルト乳剤

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：東亜道路工業株式会社

住所：東京都港区六本木7-3-7

担当部署：製品事業本部

電話番号：03-3405-5011

FAX：03-3405-1818

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

注意書き

安全対策

非該当

応急措置

非該当

貯蔵

非該当

廃棄

非該当

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
アスファルト	8052-42-4	50-62	-
水	7732-18-5	38-50	-
塩酸	7647-01-0	< 1	1-215
塩化アンモニウム	12125-02-9	< 1	1-218

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

アスファルト

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

アスファルト

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
多量の水と石鹼で優しく洗う。
皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。
この製品自体は燃焼しない。

使ってはならない消火剤

噴流水を消火に用いてはならない。
棒状注水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。

特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な炭素酸化物、アルデヒド類を生成する。
この製品自体に可燃性はないが、水分が蒸発した後の残留物が可燃物である。
このもの自体には可燃性はないが、水分が蒸発した後の残留物は可燃物である

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。
火災の場合:安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。
安全な距離から散水冷却して周囲の設備を保護する。

消火活動は風上から行う

危険でなければ、火災区域から容器を移動する

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。
回収が終わるまで十分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。
安全に対処できる場合は漏洩を止める。
付着物を速やかに流し去り、ふき取る

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

河川等に流出した場合は、管轄機関に連絡をする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

多量に流出した場合、盛土で困ってのち処理する。

乾燥した土、砂、不燃材料に吸収もしくは覆って容器に移す。

乳剤や、その混合物は流動性があるため速やかに砂等で造った土手で流出を防ぎ、硬化後スコップ等で回収する。

水中に漏出した時には、多量の場合、盛土などで覆って拡散を防止し、ポンプなどで吸引回収する

少量の場合、油吸着マット等を使用するか、土砂などを混ぜて、モルタル譲渡して凝集回収する

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

河川、湖沼等へ流出した場合には、必要に応じて消防署や都道府県市町村の公害関連部署、河川管理局、水道局、保健所、農協、漁協等に連絡をとる

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****技術的対策**

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

製品は水を含有するため、水と反応する物質を近くに配置しないこと

漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を派生させない

接触回避

この製品は水を含有するため、水と反応する物質(生石灰、反応金属、強酸化剤、脱水剤等)を近くに配置しないこと

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

保管**安全な保管条件**

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。

指定温度以下の温度で保管すること。涼しいところに置くこと。

上限保存温度 :35°C

下限保存温度 :5°C

上限保存温度 :35°C

下限保存温度: 5°C

凍結を避けること

(避けるべき保管条件)

製品には水を含むため、水と反応する物質(生石灰、反応金属、強酸化剤、脱水剤等)

安全な容器包装材料

他の容器に移し替えないこと。

製品仕様の容器に準ずる

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

(塩酸)

日本産衛学会(2014) (最大許容濃度) 2ppm; 3.0mg/m³

(アスファルト)

ACGIH(2000) TWA: 0.5mg/m³(I) (上気道及び眼刺激)

(塩酸)

ACGIH(2002) STEL: 上限値 2ppm (上気道刺激)

(塩化アンモニウム)

ACGIH(1976) TWA: 10mg/m³;

STEL: 20mg/m³ (眼及び上気道刺激)

当製品に含有されているアスファルトは非加熱でありヒュームは発生しない。

ばく露防止

設備対策

密閉された装置を使用する。

適切な換気のある場所で取扱う。

排気/換気設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質: 非浸透性もしくは耐化学品ゴム

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

安全靴などを着用する

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態: 液体

色: 茶褐色

臭い: 特有臭

融点/凝固点: 約0

沸点又は初留点: 約100°C

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし
分解温度データなし
pH: 1-4
動粘度: 30-80(25°C)
動粘性率データなし
溶解度:
水に対する溶解度: 溶ける混和する
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度: 約1.02(25°C)
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

常温、常圧で安定。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

凍結、直射日光を避ける

0°C以下で凍結する。凍結すると、凝集物が発生する。解凍した後も凝集物は再溶解しない。

35°C以上での保管を避けること。

混触危険物質

生石灰、反応金属、強酸化剤、脱水剤

水と反応する物質(生石灰、反応金属、強酸化剤、脱水剤等)

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(塩酸)

rat LD50=238mg/kg (SIDS, 2009)

(塩化アンモニウム)

rat LD50=1410mg/kg (SIDS, 2009)

急性毒性(吸入)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(塩酸)

mist: rat LC50=0.42mg/L/4hr (SIDS, 2009)

gas: rat LC50=1411ppm/4hr (SIDS, 2009)

労働基準法: 疾病化学物質

塩酸

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(塩酸)

ラビット/マウス/ラット/ヒト 腐食性 (SIDS, 2009)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(アスファルト)

ラビット 回復性の結膜炎 (CICAD 59, 2005)

(塩酸)

ラビット 腐食性 (SIDS, 2002)

(塩化アンモニウム)

ラビット 軽度の刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(アスファルト)

cat. 2; IARC 103, 2013; ACGIH 7th, 2001

発がん性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(アスファルト)

cat.2; IARC Gr. 2B (IARC vol. 103, 2013)

[IARC]

(アスファルト)

Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(塩酸)

Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

[ACGIH]

(アスファルト)

A4(2000) : ヒト発がん性因子として分類できない

(塩酸)

A4(2002) : ヒト発がん性因子として分類できない

[日本産衛学会]

(アスファルト)

第2群B: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

労働基準法 : がん原性化学物質

アスファルト

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[成分データ]

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(アスファルト)

気道刺激性 (CICAD 59, 2005)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(アスファルト)

呼吸器系 (ACGIH 7th, 2001; DFGOT vol. 17, 2002)

誤えん有害性データなし

その他情報

当製品に含有されているアスファルトは非加熱でありヒュームは発生しない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(塩酸)

甲殻類(オオミジンコ) EC50=0.492mg/L/48hr (SIDS, 2005)

(塩化アンモニウム)

魚類(ニジマス) LC50=40.8mg/L/96hr (pH: 8.29) (Thurston et al., 1981)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(塩化アンモニウム)

藻類(ナビクラ属) NOEC=26.8mg/L/10days (pH: 8.0); 甲殻類(オオミジンコ) NOEC=14.6mg/L/21days (pH: 8.3-8.6); 魚類(Menidia beryllina) NOEC=8mg/L/28days (pH: 7.36-7.86) (SIAR, 2004)

水溶解度

(アスファルト)

溶けない (ICSC, 2004)

(塩酸)

67 g/100 ml (30°C) (ICSC, 2000)

(塩化アンモニウム)

28.3 g/100 ml (25°C) (ICSC, 2000)

残留性・分解性

[成分データ]

(塩化アンモニウム)

急速分解性あり(水生環境中で速やかに硝化される(SIDS, 2007))

生体蓄積性

[成分データ]

(塩酸)

log Pow=0.25 (ICSC, 2000)

土壤中の移動性

土壤中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

容器は、洗浄後再使用又はリサイクルできる。

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

空容器を廃棄する場合は、灰要物を完全に除去すること

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号：該当しない

正式輸送名：該当しない
分類または区分：該当しない
容器等級：該当しない

環境有害性

海洋汚染物質（該当/非該当）：非該当

特別の安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

アスファルト

名称通知危険/有害物

アスファルト

消防法に該当しない。

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

大気汚染防止法

ばい煙

有害物質 政令第1条第1号から第5号

塩酸

特定物質 政令第10条第1号から第28号

塩酸

水質汚濁防止法

有害物質

塩化アンモニウム

法令番号 26: 100mg-(アンモニア性窒素 × 0.4+亜硝酸性窒素+硝酸性窒素)/liter

指定物質

塩酸

法令番号 5

化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参考文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告（日本産業衛生学会）

Supplier's data/information

責任の限定について

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における自社固有データ、日本公表データ（NITE 令和3年度(2021年度)）です。

但し、当社の判断に基づいて、データを一部変更しております。